

# 介護老人保健施設ライフサポートねりま

症例概要 利用者: 70代 女性 要介護2

病名: 急性腎不全

利用サービス: 入所

経過: 令和5年7月中旬 食事摂取困難のためN病院へ緊急搬送。脱水・腎不全の診断にて補液のみにて病状改善。精神・歩容状態が不安定で自宅退院が困難な状態となり、8月下旬ライフサポートねりま入所となる。

## 内 容

入所当初は下肢筋力低下により、歩容は不安定で4点杖で接触介助を行っていた。常に近位見守りでないと転倒リスクが高いが人と関わる事を拒み、介入拒否や易怒性も見られた。

夜間帯はセンサーを設置したが訪室時は何しに来たのよと怒鳴る姿もあり、介入時は大声で「触らないでよ」と怒鳴り、職員に手を挙げる姿も見られた。

1. 2

週間程は他ご利用者や職員との関りを持たず、一人で過ごされていた。

チームで話し合い、ご本人の意思を尊重しながらコミュニケーションを図る事を心掛けた。体操や歌が好きで、体操は積極的に参加され、音楽レクリエーションでは笑顔で手拍子をされていた。

歌謡曲も好きで、音楽を流すと一緒に歌って下さる日も増えてきた。少しずつ職員との関係が構築され、リハビリ後は笑顔でありがとうと仰って下さる日も増えてきた。杖からピックアップ歩行器に変更後は歩容も安定され、自立レベルで過ごされる。

現在はリハビリにも積極的で毎日フロアを歩かれている。他ご利用者や職員とすれ違う時はご本人から笑顔で挨拶をされ、嬉しそうなお様子で過ごされている。